※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学 （文系・G 専）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「化学」　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学基礎に引き続き、身近な物質の構造や性質を認識・理解させ、総合的にとらえさせるとともに、人間との関わりを考えさせる。主に化学基礎で触れてこなかった有機物質の性質、合成法等も学ぶとともに、それらが社会や人間生活にどのように関わっているか理解する。

2　学習の到達目標

１．人類は，自然界の多種多様な物質を利用し，それに対する理解を深めてきた。化学は，物質を探究し，創造する学問として，人類に貢献していることを理解し、科学的に探究する態度を養う。（学びに向かう力・人間性等）
２．物質の構成粒子とそれが構成する物質，および，物質がさまざまな変化をして他の物質をつくることを理解させ、科学的な見方や考え方を養う。（知識及び技能）
３．物質についての基本的な粒子概念，原理，法則などを，身近な物質や現象を通して理解し，習得させるとともに，生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。（思考力・判断力・表現力）

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・化学や化学現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	・化学的な事物・現象に問題を見出し，研究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	化学や化学現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期・2学期	4章有機化合物	1節 有機化合物の特徴と分類 有機化合物の特徴 有機化合物の分類 2節 脂肪族炭化水素 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 3節 酸素を含む脂肪族化合物 アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸とエステル 4節 構造式の決定 構造式を決定する手順 分離・精製と元素分析 分子式・構造式の決定 5節 芳香族化合物 芳香族炭化水素 酸素を含む芳香族化合物窒素を含む芳香族化合物 6節 有機化合物と人間生活 エネルギーと人間生活 食品と人間生活 医薬品や洗剤と人間生活 染料と人間生活	a:炭化水素の性質や分類とその反応性の関係や構造異性体の関係を理解し，知識として身につけている。 b:炭化水素，官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し，構造異性体・鏡像異性体などを論理的に考察し，表現することができる。 c:有機化合物の性質や反応性が官能基により特徴づけられることや有機化合物の日常生活との関連について主体的にかかわり見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	レポート 提出ノート
3学期	5章高分子化合物	1節 高分子化合物 高分子化合物の分類と特徴 2節 合成高分子化合物 合成高分子化合物の分類 合成繊維 合成繊維(プラスチック) ゴム 機能性高分子化合物	a:合成高分子化合物や天然高分子化合物の構造，性質および合成について人間生活に関連させて理解し知識を身につけている。 b:高分子化合物の性質や反応性が，その構造および結合の状態に特徴づけられる面があることを見出し，いくつかの高分子化合物について具体的に考察することができる。食物や繊維の主な構成成分である天然高分子化合物について，低分子物質との違いを考察し、表現することが	確認テスト	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		3節　天然高分子化合物 　糖類 　タンパク質 　核酸 4節　高分子化合物と人間生活 　合成樹脂と人間生活 　繊維と人間生活 資源の再利用と人間生活	できる。 c：高分子化合物の性質や反応性について，高分子化合物と人間生活の関連に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている			

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度